【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【公開番号】特開2007-304084(P2007-304084A)
【公開日】平成19年11月22日(2007.11.22)
【年通号数】公開・登録公報2007-045
【出願番号】特願2007-23610(P2007-23610)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　21/35　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　21/35　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成22年1月29日(2010.1.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
基板と該基板に設けられた導体とを含み、30GHz以上30THz以下の周波数帯域のうち少なくとも一部を有する電磁波を伝播させるための伝送線路と、
前記導体に接して設けられ、液体状検体を浸潤させて保持するための浸潤保持部材と、を有することを特徴とする装置。
【請求項２】
前記浸潤保持部材の周辺の一部又は全部と隣り合って配置された非浸潤部材を有することを特徴とする請求項１に記載の装置。
【請求項３】
前記非浸潤部材と前記浸潤保持部材との間に間隙があり、該間隙は該浸潤保持部材に液体状検体を供給する流路であることを特徴とする請求項２に記載の装置。
【請求項４】
30GHz以上30THz以下の周波数帯域のうち少なくとも一部を有する電磁波を前記伝送線路に供給するための電磁波供給部と、
前記伝送線路を伝播した前記電磁波を検出するための電磁波検出部と、を有することを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の装置。
【請求項５】
前記浸潤保持部材の構造は、液体状検体が該浸潤保持部材に対して略等方的に浸潤する粒状構造体あるいはスポンジ状構造体であり、
前記浸潤保持部材の形状は、前記伝送線路に対して非対称で、
前記浸潤保持部材は、前記伝送線路を伝播する電磁波の電場分布が該伝送線路に対して略対称となるように配置されることを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項に記載の装置。
【請求項６】
前記浸潤保持部材の材料は、ポリプロピレン、ポリスルホン、ナイロン、及びポリエーテルスルホンのいずれかを含み構成されることを特徴とする請求項５に記載の装置。
【請求項７】
前記浸潤保持部材の材料が、繊維性物質又は針状構造体からなり、
前記浸潤保持部材の構造は、異方的であり、

前記浸潤保持部材の特徴的な方向と前記伝送線路の方向とを略一致させることを特徴とする請求項1乃至４のいずれか１項に記載の装置。
【請求項８】
穴を備える基板と該基板に設けられた導体とを含み、30GHz以上30THz以下の周波数帯域のうち少なくとも一部を有する電磁波を伝播させるための伝送線路と、
前記穴に設けられ、液体状検体を浸潤させて保持するための浸潤保持部材と、を有し、
前記導体は、前記浸潤保持部材の上部に設けられることを特徴とする装置。
【請求項９】
前記穴のサイズは前記浸潤保持部材のサイズよりも大きく、該浸潤保持部材の側面から液体状検体を供給可能に構成されることを特徴とする請求項８に記載の装置。